

2：応用の釉薬

～強い石だって焼かれたら色が変わってしまうものさ。～

- 土を焼いただけでは・・・

赤茶色く、ざらついて、水も通すものしかできません。

- 白くて、色があって、つやがある陶磁器は・・・

土の上に色ガラスをかぶせて焼いているんです。

この色ガラスを「釉薬（うわぐすり）」と言います。

⇒ 釉薬を鉄板に焼き付けたら「ほうろう」になります。

湯沸かし器は、ほうろうでできています。

• 「釉薬（うわぐすり）」は・・・

色のついた鉱物(岩石)の粉をガラスの粉に混ぜて作ります。

この色が一筋縄では決まりません・・・。

混ぜるガラスの種類はもちろん、焼くためのガスが変わっただけでも、色が変わってしまいます。

・・・気まぐれも一つの性質として受け止めてください。



「これは元々ロッカーの鉄板だったのさ。いまじゃきれいに着飾っているけれど。」

C科紹介ページ
戻る